

Michael Katz 教授講演会報告



仁木 一 順*

発展的な薬学教育および実践の実現を目指して～米国と日本の現状から～
Key Words: Pharmacy education, Clinical pharmacy, International cooperation

<講演会名> Advances in Pharmacy Education and Practice: U.S. and Japan.

<開催場所> 大阪大学大学院薬学研究科 2号館特別講義室

<開催時期> 平成26年10月9日午後4時～午後5時30分

Michael Katz 教授は、2008年に大阪大学薬学部とアリゾナ大学薬学部が連携を結ぶに当たり大変ご尽力頂き、今回初めて大阪大学にてご講演頂きました。Katz 先生は、最適な薬物治療の実現のために長年医療現場でご活躍される傍ら、薬学教育にも注力され、多くの薬学生やレジデント（薬剤師研修生）を育成されてこられました。特に近年では国際的な薬学教育の発展や薬学実践力の向上にも取り組んでおられます。この度は現在の日本における薬学教育の課題および解決策について、薬学教育の先端を走るアリゾナ大学の例を交えながらご講演頂きました。本邦で6年制薬学教育が始まってから今年で10年目に突入しましたが、教育目標の1つである「臨床的な実践力に優れた薬剤師の養成」が実現されているとは言い難いのが現状です。その原因の1つとして、実践力を養成するカリキュラムが不十分であるという点が挙げられます。一方、アリゾナ大学の Pharm.D コースでは臨床志向型教育を強力に推進

しており、学生は3年次までは講義や短期間の研修を受け（IPPE program）、4年次では実際の医療機関において様々な科を回って経験を積み、実践力を大いに高めています（APPE program）。また、専門性や技術の向上を支援する学生団体が設立されており、学生でありながらもワクチンの接種や血圧の測定を通して臨床業務に携わることが可能です。日本でもこのような制度を参考にすることで、実践力の向上が可能になるのではないかと思います。本講演会には多くの薬学教員や学生が出席し、今後の薬学教育について活発な議論を交わすことのできる貴重な場となりました。最後になりましたが、本講演会は生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業のご支援を賜りました。関係各位に厚く御礼申し上げます。

講演中の
Michael Katz 教授

講演会の風景



Prof. Michael KATZ

1953年8月生

College of Pharmacy, University of Kentucky（薬学博士）1979年。

勤務先 University of Arizona College of Pharmacy 部課名 Department of Pharmacy Practice & Science

職名 Professor 学位 Pharm.D、薬学博士 専門 臨床薬学（Clinical Pharmacy Practice）

TEL: 520-626-8774

E-mail: katz@pharmacy.arizona.edu

*講演会主催者 大阪大学大学院薬学研究科 医療薬学分野 助教